



三島スカイウォークからの富士山

動物医療の未来を創る～命の絆～

～開院から1年を迎えて～

院長 伊藤 博



AdAMも皆様のご支援により、今年の4月で1歳を迎えることができます。まだ、よちよち歩きではございますが、一日も早く地域の皆様に頼られるセンターを目指して努力いたします。

現在、我が国のヒトの死亡原因の第1位は未だがんであり、“がんの撲滅”は国として最も力を注いでいる重要課題のひとつでもあります。近年、分子生物学的な技術の向上により、がんのシステムに踏み込んだ多くの基礎研究が実を結んでおります。こうしたなかで、免疫に關与する抗体医薬やがんワクチン、核酸医薬等、がんの基礎研究の成果をベースにした新しい新薬が生まれつつあります。いわゆる“ベンチからベットサイド”へと私達が望んでいる方向へ一歩、一歩進んでいます。我々もこのような新薬の開発に關与し、一日も早くがんで苦しんでいる動物たちを苦しみから

救ってあげたいと日々努力をしています。

しかし、当センターはがんに特化しているわけでもありません。内科、一般外科、整形外科と飼い主様のニーズにできるだけお応えしようと専門医を育てております。そのためにも今年の4月からは、スタッフを増員し、出来る限り綿密な診察を行うつもりでおります。

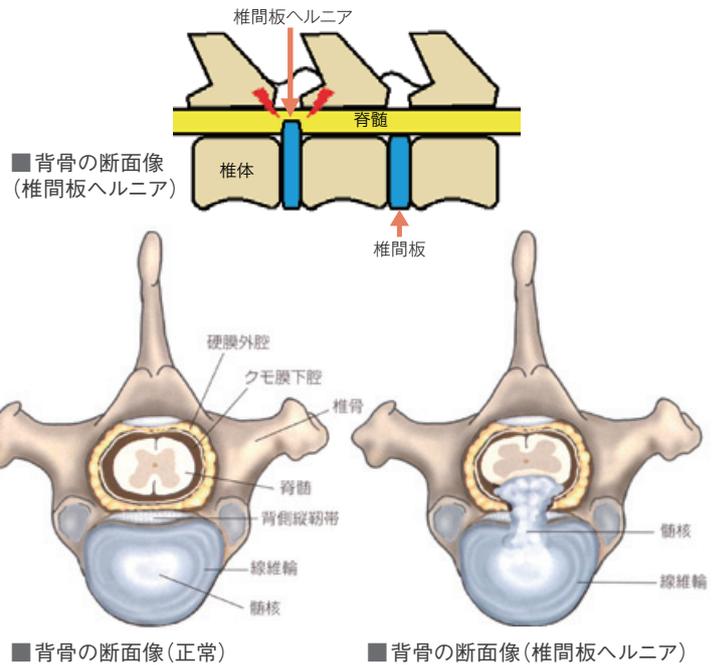
今年の当センターの目標は、“新しい最先端のがん治療および早期がんの体外診断”を確立したいと思っています。

昔から一緒に過ごしてきた伴侶動物(イヌ・ネコ)はヒトと比較して寿命が約10倍も短いため病気の進行も早く、1年経ちますと5年～7年という猛スピードで時間が駆け抜けていきます。一日も早く異常を察知して私たちの呼び鈴を押して頂けることを望んでいます。これからも引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

椎間板とは、背骨のクッションのことを指し、背骨にかかる衝撃を吸収しています。椎間板にあるこのクッションが、脊柱管内に飛び出してしまった状態を「椎間板ヘルニア」と呼び、脊髄が圧迫されることにより腰痛や麻痺などの症状を示します。特に頸椎と腰椎に好発します。

犬の椎間板ヘルニアには、急性に発症するI型と慢性的に症状が進行するII型に分類されます(Hansen分類)。また障害の程度は5段階で評価されます。これらの分類・評価によって、治療法が決定されていきます。

本院では、大きく分けて外科治療、レーザー治療、再生医療を含めた内科治療を症状に合わせて組み合わせて行っています。外科治療では、手術用顕微鏡を用いて出来るだけ小さく背骨を削り、取り残しの無いようにヘルニア物質を摘出しています。



症例 1

マイクロサージェリー (外科療法)

手術用顕微鏡を用いて微細な椎間板ヘルニア物質の摘出手術を行う

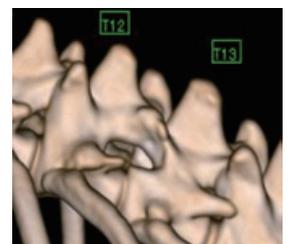
犬種: ミニチュア・ダックスフント 診断: I型ヘルニア
臨床症状: 4日前に抱っこをした時に「キャン」と鳴き、痛がっている様子が見られた。以降後肢のふらつきがみられたとのことで、ホームドクターを受診。鎮痛薬の内服薬による内科治療を施すも改善せず、当センターを受診。

左後肢の麻痺が認められた。脊髄造影下CT検査にて、第12-13胸椎間の椎間板ヘルニアが認められたため、片側椎

弓切除術*を行い、ヘルニア物質を摘出した。顕微鏡下での手術を行うことによって、削る背骨を減らすことが可能となり、術後回復が非常に早く、長期的な背骨の不安定性を軽減できる。

術後2週間後には歩行可能となっており、現在(術後8カ月)大きな合併症は認められない。

*片側椎弓切除術: 片側の背骨の一部を削ることによって脊髄の圧迫を解除する術式



症例 2

経皮的レーザー椎間板髄核減圧術 (PLDD: Percutaneous Laser Disc Decompression) 体へのダメージが少ないレーザー治療を多発性ヘルニアに適用

犬種:パグ 診断:多発性Ⅱ型ヘルニア

臨床症状:約1年前より両後肢のふらつきを主訴にホームドクターを受診。内服薬による治療を行っていたが良好しないとのことで、大学病院を紹介され、MRI検査を行ったところ、多発性のⅡ型ヘルニア(11カ所)と診断された。手術による治療は不適と判断され、内服薬を継続していた。それから半年後、後肢ふらつきの重症化・排尿困難を主訴に当センターを来院した。

当センターの見解も手術不適だったが、このように複数カ所以上存在するⅡ型ヘルニアに対しては、透視装置を用

いた低侵襲レーザー治療であるPLDDの適応であると判断した。本術式は椎間板に針を刺し、そこからレーザーを放出させることによって空洞を椎間板内につくる。この空洞をなくすために、椎間板が萎縮し、結果的にヘルニアによる脊髄への圧迫が和らぐ。

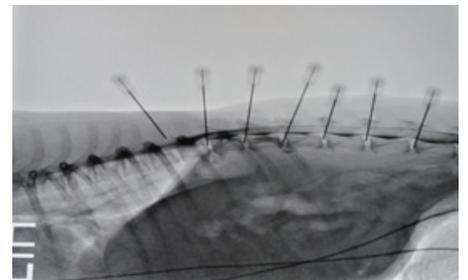
本術式は適応症例が限定的であり、技術を要するが、多発性のⅡ型ヘルニアに対しては、非常に低侵襲(体のダメージが少ない)な治療オプションの一つである。本症例は、11カ所すべてにレーザー照射がなされた。術後3日目にて、後肢の荷重が増加し、踏ん張ることが可能となった。



■術前(両後肢のふらつき)



■各椎間板にレーザー針を挿入



■透視装置を用いたレーザー針の挿入部位の確認



■術後



■椎間板に針を刺し、そこからレーザーを放出させることによって空洞を椎間板内につくる

From 日本レーザー獣医学研究会

症例 3

再生医療～脂肪幹細胞治療～ 高齢による椎間板ヘルニアの再生医療

犬種:ミニチュア・ダックスフント

臨床症状:3日前から歩行困難になり、2日前に近医で内服薬による内科治療を行ったが改善が認められなかったため、当センターを受診した。

初診時は自力で立ち上がることができず、右後肢の軽度麻痺、左後肢の重度麻痺が認められた。16歳と高齢であるため麻酔下での処置を希望されなかった。

また近医での内科療法に反応が認められなかったことから脂肪由来間葉系幹細胞による治療を行うこととした。幹細胞を1週間に2回のペースで計4回静脈投与を行った。

第1回目の幹細胞投与後から自力の起立と短時間の歩行が可能となった。症状は順調に良化し4回の投与にて、走ることが可能となり再発は認められていない。



■幹細胞投与前(後肢の麻痺)



■幹細胞投与後(起立歩行)



AdAMからのお知らせ

ペットが
よろこぶ

手作りの入院食を始めました

AdAMにはがんをはじめ重症な患者が多く来院します。ほとんどの子は食欲がなく、市販のフードに興味を持たないことがあります。さらに病院で処方されるフードは病気のことを考えているため、食いつきや嗜好性が極めて悪く、全く見向きもしない子もいます。

こうしたことから、伊藤院長の発案で患者の病気に合わせた“入院手作り食”

を開始しました。ヒトの臨床を経験された管理栄養士の指導で、ヒトと同じ食材を使い、安全でおいしく、かつ出来立てを提供しています。

開始から約2ヶ月、全体的にはよく食べてくれる子が多く見られました。将来この手作り食が病院だけでなくご家庭にも広がり、動物との生活をより充実させる一助になると確信しています。

ネコの味覚

イヌやネコの味覚をヒトに比べてみると大きく違います。味を感じるのはネコもイヌも舌です。舌には味を感じる味蕾細胞があり、ヒトでは約10,000個、イヌは1,700個、ネコでは僅か500~800個しかありません。多くの研究でネコはあまり甘みを感じないことが明らかにされました。

ところが肉食であるネコは肉のアミノ酸

に対する味覚が鋭く、苦味に対しても敏感であるため腐敗している肉などの判別に適しているといわれています。ネコは薬の苦味も泡を吹くほどですから、僅かな苦みも苦手なのかもしれませんね。私のクルちゃん(ネコ)は、落ちていた梅干しやイチゴについてるネオミルクもペロペロと舐めているので良く理解できないこともあるニャ〜?



伊藤院長の愛猫「クルちゃん」



動物先端医療センター

Tel.055-988-1660 <http://www.adam-c.com>

伊豆縦貫道 長泉インターすぐ 〒411-0934 駿東郡長泉町下長窪1075

診療受付時間 9:00~12:00/16:00~21:00 予約診療制・年中無休(毎週水曜日は終日オペ日となります)



facebook
始めました!

特別協賛

楽しいが、あふれる。

お買得情報や友だち限定の企画をお届けします!

サントのLINE@

ご登録は
こちらから

サントムーン 検索 LINE ID @suntomoon

SUN TO MOON
サントムーン 柿田川

本館
駿東郡清水町玉川 61-2 TEL055-981-8800
アネックス
駿東郡清水町伏見 58-1 TEL055-983-3003

“欲しい”が見つかるホームページ

サントムーン 検索

夢をカタチに 創るよろこび

Home Assist

ENCHO
ポイントカード

店頭にて発行! その日から貯まる!
エンチャョーの現金ポイントカード

ポイント
カード

うねいWポイント

「エンチャョーカード」にて
お支払い時でも「e-ポイントカード」
にポイントが貯められます。

0120-956-878

本館 AM9:30~PM8:00
資料館 AM8:00~PM8:00

DIY工房
を利用しよう

様々な手工具・電動工具などを
取り揃えたDIYスペース。
楽しいワークショップも開催!
お気軽にご利用ください。

静岡県駿東郡清水町玉川61-2 <https://www.encho.co.jp/>